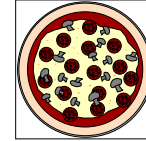
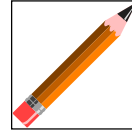


# レ ス ス ン プ ラ ン

3 学年            第 3 回            (異文化理解)



テーマ：「まわりにある外国の物」

## 授業の目標：

- (1)ふだんの生活で何気なく使っている物がどこからきたのか知る
- (2)多くの国々がお互いに依存し合っていることに気づく。
- (3)現代の生活の大部分が輸入品に頼っていることから、外国との関係を友好に保つ大切さを理解する。

## 用意するもの：

ALT

担当教師

- “ジョニーの一日”の教材
- “It’s a small world”活動プリント人数分

- 担当教師は事前に教室内にある様々な輸入品をチェックしておく。(ラジカセ、計算機等)
- 子どもは事前に家にある外国製品を見つけ、家の人にそれがどの国から来たのかを聞き、持ってくる如果能够持ってくる。(おみやげではなく、食べ物や台所用品や文具、食器、おもちゃ等)
- 紙と鉛筆
- 世界地図(黒板に貼れる大きなもの)

時間	活 動	気づいた点
12分	あいさつの後、 <b>担当教師</b> は簡潔に本時のテーマについて述べる。 <b>ALT</b> は「ジョニーの一日」のお話を読む。 <b>担当教師</b> は話に沿って絵を黒板に貼る。子どもたちは、お話しの中に出てくるどの国がどのようにジョニーの生活にむすびついているかメモする。	
5分	<b>ALT</b> は子どもたちにいくつかの国の名前があったかを尋ねる(10か国)。 <b>担当教師</b> は子どもたちに、国名とどのようにその国がジョニーの生活と結びついているかを尋ねる。 <b>担当教師</b> はその後、ジョニーのように、自分たちの生活もいろいろな国と結びつきがあることを述べる。	
18分	<b>担当教師</b> は子どもたちを小さなグループに分ける。子どもたちは持ってきた物を見せ合い、プリントを利用しながら種類ごと物を分類し(食べ物、衣類、化粧品、おもちゃ、機械類など)、それらがどの国から来たのか、まとめる。他のグループより早く終わったグループがあれば、その子どもたちは教室内で外国から来た物があるかどうか探してみる。	
8分	グループ毎、どれだけの種類のものが、どれだけの国から日本に来ているか分かったかを発表する。 <b>担当教師</b> は、発表のうちのいくつかを黒板に書く。	
2分	<b>担当教師</b> は家や学校の中で外国からきたものをさがしてみるのも面白い事を提案する。(家庭用品、食べ物、衣服、おもちゃなど)そして、世界の国々はお互いに助け合いながら生活していることにふれ、外国と仲良くする必要があることを述べ、本時をまとめる。	